

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム石焼き芋

提案内容	提案名	第2のふるさと、鯖江
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム石焼き芋
	提案内容	免許合宿の学生をホームステイで受け入れ鯖江への定住、交流促進を図る
提案内容	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●鯖江自動車学校に免許合宿で来た学生を地域で受け入れ、ホームステイや地域活動を組み込むことにより、鯖江への愛着を高める ⇒「家族がいるふるさと鯖江、帰ってきたいふるさと鯖江」を目指す ◇ターゲットは、地域活性に興味がある学生・鯖江に興味がある学生 ①一般的な免許合宿の2倍の4週間という日程 ②一日のスケジュールに地域活動を組み込みホストファミリー以外のさまざまな人と関わる ③地域活動は特に何も指示しない(学生が自ら考え主体的に動けるように)⇒地域課題の探求&解決 など ④生活面のお世話をホームステイとして市民が請け負う⇒家族としての密な関係の構築 ●期間(長期的にともに過ごすこと)×密度(生活に密着すること)によって、家族のようなつながりが自動車免許を取りに来た学生と鯖江市民との間にできる ⇒鯖江に家族がいるということから、また帰ってきたいと思う人が増える
	期待される効果	・鯖江に愛着を持つ人が増加し、鯖江への再訪者、移住者が増え、まちの活性化に繋がる
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した民泊施設を免許合宿の宿泊先として検討してもらえるよう市内の自動車学校に提案する。 ・免許合宿の学生を対象に、チラシ等を作成・配布し、情報発信を行う。
	形態	新規事業として実施
	採択年度	新年度(H30年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>本市は株式会社LIFULL、楽天グループの民泊事業会社である楽天LIFULL STAY株式会社と空き家の利活用を通じた地域活性化連携協定を締結した。その事業の一つとして、空き家を利用した民泊施設のモデルケースを開発する。この民泊施設を免許合宿の宿泊先として検討してもらえるように、市内の自動車学校に提案する。</p> <p>また、免許合宿に来る学生は、ほとんどが若者世代であるので、市のイベント情報をはじめ、学生連携に関する取組(地域活性化プランコンテストやアートキャンプ等)、若者中心のまちづくり活動(JK課、SAN等)、「先輩移住者の声」のような、移住・定住についての情報など、若者世代にポイントを当てた情報発信をする。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームニヨッキ

提案内容	提案名	サバドバ漆器(サバエ×ドバイ×漆器)
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームニヨッキ
	提案内容	越前漆器をアラブの富裕層に売り込み、職人の想いを届けるシステムを開拓する
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●サバドバ漆器は、鯖江とドバイを漆器でつなぐシステム ●職人の思いが伝わりにくい現在の受託製造のシステムを変え、自分たちの思いをこめた商品を買ってくれる自由市場システムの開拓 <ul style="list-style-type: none"> ①アラブの石油王に漆のスプーン100本を直接販売 →中東で「日本の伝統産業といえば鯖江」を確立&相対価値の違いを利用してアラブで10倍以上の収益を得る ②特別展覧会をアラブで開催 →一品物の価値を現地の方に分かってもらう ③アラブの石油王を鯖江に招待する ●何故アラブなのか <ul style="list-style-type: none"> ・伝統産業分野の中東への進出はまだないため、日本の伝統産業＝鯖江のイメージを確立するチャンス ・中東には東洋の文化受容の傾向がある
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・職人の技を世界に広めることができる ・職人が自由な発想で作った商品を売ることができる ・相対価値の高いアラブで売ることにより、高い収益が見込める 	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	・地元企業を通じアラブでの展示会開催を検討する
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<p>越前漆器を海外富裕層にPRする事業として、未だ漆器業界そのものの進出がなされていない中東を選択しており、海外展開が重視される昨今において欠かすことのできない視点である。</p> <p>市内の漆器関連企業のドバイ進出は、木製雑貨を扱うhacoaが現地代理店と協業したミニ展示を行ったが、木に対する価値観が低く、現状商いにはなっていない。</p> <p>また、漆器は中東地域において、現在全く普及していないこと、中国をはじめとするアジアの国々では、日本よりも遥かに廉価で生産されていることを考慮すると、漆器の普及や他国商品との差別化のための教育が必須となる。</p> <p>また、高温、乾燥、強い日差しなど、漆器の保存に適さない気候であることや、金属製食器や食洗機の使用が一般的であるため、漆器を使用すること自体が受け入れられにくい想定があるため、これらを覆して進出するためには、相当のコストと時間が必要になると思われる。</p> <p>現在、進出を始めているhacoaにも相談する中で、実現可能性を探りたい。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームサーモン

提案内容	提案名	慶應生が提案する本気のデートプラン
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームサーモン
	提案内容	商店街に滞在できる工夫を施し、西山公園と駅の移動の導線上に組み込む
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●鯖江駅から西山公園への移動の導線上に商店街を組み込む ⇒おしゃれな商店街をつくり、写真に特化したSNSであるインスタグラムを通して、地域活性化につなげる ●西山公園でのイベント後の時間の過ごし方の提案 <ul style="list-style-type: none"> ①夕方(17時～19時)…「いつもと違う商店街を満喫する」 (例:Hacoaの商品を商店街で販売、お土産屋さんを商店街に、壁ドンができる壁を作る等) ②夜(19時～21時)…「カップル向け」のコンテンツ (例:シャッターに映像を投影、光の装飾の設置、プロジェクションマッピング等) ●「モテる街＝鯖江」の地域ブランディング ⇒市外からカップル・モテたい人が来るようになり、さらに市民が地元の魅力を再発見することにつながる ⇒メインターゲットは、地元や近隣の高校生および大学生。街なかに若者が立ち寄れる場を作る
期待される効果	・カップル・若者を中心とした多くの人が鯖江の商店街を訪れるようになり、商店街の活性化につながる	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江駅から西山公園への移動の導線上の商店を改修する ・いつもと違う商店街、商店街の夕方から夜のコンテンツを支援する ・街なかに若者が立ち寄れる場を提供する
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H29年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>今年度、おもてなし商業エリア創出事業の採択を受け、JR鯖江駅から道の駅西山公園までのエリアの商店の外観および内装の改修に支援を行っている。現在3店舗の改修が実施され、外観が一新された。平成30年度までの事業ではあるが、より多くの店舗が取り組めるように支援し商店街のイメージアップを図りたい。併せて若者が足を運ぶよう、インスタ映えするスポットの整備も検討する。</p> <p>また、商店街が自ら行っている事業で、「秋の夜市」が9月に開催され、いつもとは違う夜の商店街を楽しむことができ、新たな夜のコンテンツとして本町商店街では街路灯の改修に合わせイルミネーションを検討している。今後も商店街が企画実施する事業に支援していきたい。</p> <p>さらに、街なかに若者が集える場として、学生連携活動拠点施設「らてんぼ」があり学生団体の活動に活用している。今後もさらなる利活用を促していきたい。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームシフォンケーキ

提案内容	提案名	世界に一つだけのブラスバンド～音楽の力で人を幸せに～
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームシフォンケーキ
	提案内容	鯖江の眼鏡・漆器・繊維・歌を盛り込んだ世界に一つだけのブラスバンドをつくる
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●鯖江で盛り上がり始めているブラスバンドを利用したまちづくり ⇒正式なコンクールではなく、各イベントや演奏会などで、鯖江のブラスバンドとして演奏 ・活動主体は社会人吹奏楽団ソノーレウィンドアンサンブル、中学校の吹奏楽部 ●鯖江の産業を盛り込む <ul style="list-style-type: none"> ①眼鏡:鯖江でつくった赤い眼鏡(めがねのまちさばえのロゴ)を掛けて演奏 ②漆器:漆を吹き付けた楽器を使用(2%)※音質に悪影響を与えない程度 ③繊維:衣装として着用 ④鯖江オリジナルソングを作曲し演奏 ⇒市政広報やイベントでの表彰、CATVでの演奏放映、垂れ幕を作成した応援PRなどを行う ⇒愛着が湧くことにより、実際に生演奏を行う場に足を運ぶ人が増え、鯖江を代表する存在となる ⇒市民全体の幸福度アップにつながる ●鯖江オリジナルソングについて ⇒楽譜・セットリストをオープンデータとして公開
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラスバンドが鯖江を代表する存在となる ・ブラスバンドに対する誇り・愛着が湧き、市民全体の幸福度アップにつながる 	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「めがねのまちさばえ」ロゴ眼鏡を開発し提供する ・漆を吹き付けた楽器の開発を検討する
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<p>今年6月の吹奏楽フェスティバルにて、出演者全員がサングラスをかけて、産地をアピールした。産地PRの手段として有効と考えられるが、本提案内容の「めがねのまちさばえ」ロゴの眼鏡について、眼鏡を掛けなれていない人でも演奏中に眼鏡ズレが発生しないような工夫が必要不可欠である。県眼鏡協会等との間で、眼鏡の材質やかけ心地、協力企業の選出などの検討を重ねたい。なお、今年6月の吹奏楽フェスティバルで出演者全員がサングラスをかけて産地をアピールした。</p> <p>楽器に漆塗りを施すことで音質が向上するケースもあると言われており、楽器によっては漆との相性は悪くない。(ピアノ、ギター、バイオリン等の実例あり)とされているが、実現には、楽器の種類、材質、適した塗りの手法等の試行錯誤が必要になるなど、多額のコストや時間、情報機器分野に関する知見や人材が必要。</p> <p>実現は容易ではないが、金属への漆塗りの実績もある漆器産地としての知見を活かし、越前漆器協同組合等にも提案していく中で、実現可能性を探っていきたい。</p> <p>本市出身シンガーソングライターのナオリユウさんが漆器や眼鏡の歌を発表しており、活用できる場を探っていきたい。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームごった煮

提案内容	提案名	未開のデータ開拓で更に開かれた街へ！ データシティさばえ2.0
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームごった煮
	提案内容	民間企業の情報を市が収集し、市民のオープンデータのさらなる活用を図る
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●オープンデータの公開は進んでいるが、実際の活用が少ない(現在のアプリ利用率2%) ⇒民間企業が多く持っている”市民が本当に欲しい情報”をオープンデータとして市が公開する <ul style="list-style-type: none"> ・”欲しい情報”は日常生活で使える身近なデータ(民間のデータを市が収集) ・潜在的ユーザーは、スマートフォンデバイスを既に持っており、アプリの利用も多い”若者” ・鯖江市が持っているITのまちとしての技術(Ichigojam、桜インターネット)を活かして、低コストで実現可 ・有効なデータを集めて、市民に広く活用してもらうという土壌を市としてつくっていく必要がある ●市民が本当に欲しい民間の情報の例 <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の席の空き状況 ・お店の営業時間 ・駐車場情報 ・喫煙禁煙場所 ・病院の込み具合等
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がオープンデータに親しむことができる ・オープンデータの公開で終わることなく、実際の活用につなげることができる ・オープンデータを公開し活発に利活用している環境がビジネスの呼び水となる 	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	・民間データのオープンデータ化については、データの作成のノウハウを提供するなど、オープンデータ化の取り組みを支援するという形で実施していくことを検討する。
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<p>世代、職歴をこえた課題解決のアイデアソンなどを通して、有効なデータを模索していく。その中で、民間データのオープンデータ化については、市民の皆さんの草の根運動、市民運動的な活動が重要と考えている。今年度、「ぐぐれるまち・さばえ事業」を行うが、ご意見をいただきながら活動を広げていく。</p> <p>民間事業所にホームページ等で公開している情報などをオープンデータとして公開することが新たな展開につながるという意識を持ってもらい、オープンデータの取り組みが広がる施策を検討していく。また、まちなか駐車場の空き情報などシェアリングエコノミーへの活用なども視野に入れ検討していく。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームロコモコ

提案内容	提案名	#可愛いはメガネでつくる 鯖江「Dieye」プロジェクト
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームロコモコ
	提案内容	市のイベント会場や眼鏡小売店にメイクブースを設け女性客の増加につなげる
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●眼鏡の販売は男性中心だが、女性の市場にも参入していく ⇒モノではなく「コト」として眼鏡を売る＝眼鏡に合ったメイクを施すという付加価値をつける ①ターゲットは、購買意欲が高いものの、メガネに対するマイナスイメージを持つ30代女性 ②鯖江の眼鏡で可愛くなれるというイメージ付けを積極的に行う ●鯖江眼鏡美人化計画 ①女性コーディネーターの採用(女性の視点を取り入れるため、マーケティングに女性を関わらせる) ②眼鏡に合うヘアメイクの研究を行う「Dieyes」の結成 →市内の美容師・ヘアメイク・眼鏡メーカーと協力 ③イベントやグラスギャラリー291等の小売店にてメイクブースの設立 →眼鏡に合うヘアメイクの体験を提供することにより、購買意欲が高まる Instagramへの投稿により共有する ④女性向け眼鏡の統一ブランドライン「Dieye」設立(メーカーに働きかける)
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の眼鏡に対するマイナスイメージを払拭し、小売店に向かう女性客が増加する ・女性への販路開拓により眼鏡産業の衰退を軽減することができる 	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	・イベント時の眼鏡用メイクブースの設置、眼鏡に合うヘアメイク・メイクの提案
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	眼鏡の小売営業時の提案として有効であり、女性市場の更なる発展に寄与できる可能性がある。一部小売店において、販促の一手段としてメガネスタイリストによるお見立て会を実施している。また、市では平成26年の「ももいろクローバーZ」横浜コンサートで市PRブースにおいて同様の取り組みを行い、好評を博した。ただし、多額のコストもかかるため、本提案内容について県眼鏡協会等にも投げかけることで、何らかの形で実現を模索していきたい。

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームナツメグ

提案内容	提案名	まだ、メガネかけてないの？
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームナツメグ
	提案内容	近視対策メガネをプログラミング教室の小学生や中国・インドの富裕層に売り込む
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●近視対策メガネはこれから売れる <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイスの普及により近眼人口は増え続けている (2050年⇒世界人口の約半分50億人が近眼との予想) ⇒ブルーライトカット眼鏡を世界に売り出すチャンス ・ターゲット①Hana道場のプログラミング教室に通う小学生 ⇒デジタルデバイスに触れる機会が多いお子様をお持ちの親御さんのため、理解されやすい ・ターゲット②中国・インドの富裕層 ⇒インターネット人口が多い地域・高価格のものを買うことができる 現地の小売店にメガネを置いていただく形で販売 ●鯖江のフレーム×ドイツのCarl Zeiss社のMCLレンズ(技術提携) ⇒近視対策メガネで、鯖江だけのメガネイメージを確立
期待される効果	・近視対策メガネで医療機器分野の新たな商品展開、販売が可能となる	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	・インドでの販売促進、展示会への出展を検討する
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<p>ブルーライトカット眼鏡は、既に海外製の安価な商品が市場に溢れてしまっているため、国産品としての差別化や価値付けが必要不可欠である。</p> <p>販路開拓について、現在、県眼鏡協会がIOFTを主催している他、産地企業が各種海外眼鏡展示会への出展を行っており、市としても市内企業の積極的な海外市場販路開拓を支援している。既にIOFTでのバイヤー訪日や北京展、上海展、香港展等への出展を通じて中国市場への販路開拓が行われており、引き続き関係団体との協議を行っていきたい。また、インドは経済成長が著しく、富裕層の増加が見込めるため、高品質な鯖江眼鏡の販路としての可能性は十分にある。しかし、インドの眼鏡展示会およびマーケットについては未知数であるため、実現化には十分な検証が必要と判断される。</p> <p>以上の状況を踏まえ、県眼鏡協会等との協議を重ね、実現可能性を模索していきたい。</p>

平成29年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームハッシュドビーフ

提案内容	提案名	やんしき×テクノ
	提案者	第10回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームハッシュドビーフ
	提案内容	やんしき踊りにテクノ音楽や鯖江の工場音を取り入れ若者に注目してもらう
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模化しているやっしまつりに若者をはじめ多くの人に参加するようになってほしい ⇒鯖江市民全員、やんしきで踊り狂わせたい ●「やんしき×テクノ」 若者にやんしき踊りを踊ってもらうために、テクノ音楽をかけ合わせてアレンジ ※やんしき保存協会は新しいことに挑戦する気持ちがあり、音源のアレンジも承諾 ①「鯖江やんしきフェス」を開催して市内外から参加してもらう ②やんしき踊りの音頭を若者受けの良い電子的な音色「テクノ音楽」でアレンジ ③鯖江の産業を思わせる「工場音」も組み込む ●伝承とマーケティング ・内への伝承：中学校の体育の必修であるダンスの授業で取り入れる ・外へのマーケティング：工場の映像を用いたPRや「盆踊り×テクノ」という異空間を売り出す
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・やんしき踊りの若者への普及 ・やっしまつりの来場者増加 	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> ・やっしまつりに若者が多く参加することが期待でき、若者に注目してもらうこと。 ・やんしき踊りとテクノ音楽をかけ合わせてアレンジした音楽をつくること。
	形態	新規事業として実施
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<p>やんしき保存協会は、音源のアレンジについて承諾している。一方、やっしまつり実行委員会からは、まつりのスケジュールにおける時間の確保はできるが、音源や振付けの制作は現状では難しいとの回答があった。</p> <p>今後、音源のアレンジ、振付け、踊れる人を集めることができる団体を模索していくが、単年度において音源作成からやっしまつりでの披露は難しいと思われる。</p> <p>また、現在、市内小学校でふるさと教育の中で「やんしき踊り」に取り組んでいる学校があり、内容が学校のねらいに合致する場合に対応は可能である。</p>